立憲民主党　寝屋川市議会議員　　スマイル NEWS　新年号

にしお　勝成　議会報告



住所：寝屋川市三井南町 1-1-101　連絡先：080-4244-7728
E-MAIL：katsu240@mint.ocn.ne.jp　　ブログ：http://ameblo.jp/katsunari240

2020 年 1 月発行
VOL.1

4 月 21 日投開票の寝屋川市議会議員選挙からはや 8 か月が経過いたしました。議席が 27 名から 24 名に減ったこともあり、厳しい選挙の結果寝屋川市初となる次点と 1 票差で当選させていただきました。

異議申し立てもあり、寝屋川市選挙管理委員会で私の 2,032 票、次点候補者の 2,031 票並びに無効票の 1,884 票の開披再点検を、その後大阪府選挙管理委員会にも異議申し立てが出され、残り 92,084 票の開披再点検が行われましたが、結果は変わらず、9 月 25 日異議申し立ては却下されました。

この上なく 1 票の重みを感じる選挙でした。この 1 票の重み、1 票に込められた思いをしっかりと汲み取り、実直に市政へと取り組んでまいります。

寝屋川市議会議員　にしお　勝成

【12月定例会での決定事項】

◆中学校体育館へエアコン設置決定◆

小中一貫校施設整備事業を実施する第四中学校を除く、公立全 11 中学校体育館へのエアコン設置に係る予算が可決され、令和 2 年夏休み中に工事が始まる予定となりました。

経費は6億1900万円を上限とし、来年度が期限の緊急防災・減災事業債（国の負担7割、市の負担3割）が検討されています。

【　議会審議に於いての質疑　】

地域協働協議会が作成した避難所開設・運営マニュアルは現在各小学校のものしかなく、避難所の開設はコミセン、小学校、中学校の順となっていることから、小学校の体育館が先ではないか、同時の設置は無理なのかなどの意見や要望も出ました。

◆窓口サービス改革◆

令和2年度からの予定
・接客のプロの配置（令和元年度採用）
・開庁時間 8 時から 20 時へ拡大
・窓口予約の開始
・ICT 化の推進

【　議会審議に於いての質疑　】
・接客のプロを雇い業務を教えるより、業務ができる現在の職員に接客を教えた方が良いのではないか。
・開庁時間を拡大する意味があるだけの利用者がいるのか。
・予約時間を設定することにより、逆に無駄な時間ができるのではないか。
などの意見も出ました。

◎にしお勝成プロフィール◎

昭和 52 年 11 月 20 日寝屋川市生まれ　　前職　認可保育園　園長
私立恵愛幼稚園　・寝屋川市立第五小学校・第六中学校卒業　・私立啓光学園（現・常翔啓光学園）高等学校卒業・大阪経済法科大学法学部・法律学科卒業
寝屋川市消防団員、寝屋川青年会議所シニアクラブ、寝屋川市倫理法人会、ねやキッズ実行委員会など
【資格など】ホームヘルパー2級、柔道初段、防災士、応急手当普及員、防火管理者、衛生推進者など

【12月定例会一般質問】



◆避難所開設・運営マニュアルについて◆

Q. 全小学校区地域協働協議会でマニュアルが作成されていますが、全て出揃うまで4年がかかりました。様々なことが想定される避難について、未だ実践的なものでは無いことから、早急なバージョンアップのために地域だけに任せるのではなくアドバイザーを入れることを提案いたします。

A. 現在マニュアルを見直しているが、地域の要望等を踏まえて対応してまいります。

地域のことは地域ですることや、マニュアルがあることの周知も要望いたしました。





◆災害時の垂直避難について◆

Q. 洪水ハザードマップによると、市内西側は洪水時 3m以上の浸水となることが予想されている地域が多くなっています。しかし寝屋川市では民間ビル所有者と洪水時の避難ビルの協定締結が進んでいないことから、

・新築時に協力要請をする
・基準を満たすビル所有者へ手紙を出す
・自治会等に協力してもらい所有者と協定を結ぶ

ことを提案いたしました。

A. 新たな避難の方法、垂直避難の指定基準を定め、その上で自治会などに垂直避難ビルの選定を依頼することなど検討を進めております。

◆スケアード・ストレイト方式の交通安全教室の実施について◆

Q. 事故発生件数全国上位の大阪府の中で、寝屋川市は残念ながら上位の常連となっています。
このことを市全体の問題として、効果が高いと言われているスタントマンによる事故再現をするこの方式の交通安全教室の実施を提案いたします。

A. 交通ルールを守る大切さや無謀運転の危険性を学ぶ手法として小学生を対象とした効果的な教育方法であると認識しています。関係部局と協議を行い検討してまいります。



◆保育について◆

９月議会では未だ厳しい環境にある保育士の処遇改善について要望をし、
１２月議会では業務改善、子どもたちの安全のために、『保育園等におけるＩＣＴ化推進等事業（事故防止対策分）補助金』の導入を提案しました。
今後も引き続き、保育士の処遇・環境改善に取り組み、子どもたちが安全で質の高い保育を受け続けられるようにしてまいります。